

## 基本構想(骨子案)に対する御意見について

第二回八戸市総合計画策定委員会で議論した基本構想(骨子案)に対する構成や作成イメージ等について、各班から発表された御意見は以下のとおりです。

### 【A 班】

- ①市民意見パートから将来都市像パートへ移行する構成とする場合、将来都市像が飛躍しかねないため、橋渡しのようなページを設けた方が良いのではないかと。
- ②流出は止められないため、帰ってきやすい仕組みづくりが必要だと思われる。

### 【B 班】

- ①将来予測を記載したほうが良いのではないかと。
- ②市の歴史や発展の背景を記載したほうが良いのではないかと。
- ③飛躍の件については A 班と同意である。
- ④策定後も継続してアンケート調査を行い、効果検証をしていく必要があるのではないかと。
- ⑤民間企業の活動や波及効果の記載も必要ではないだろうか。

### 【C 班】

- ①「読む」から「見る・見せる」計画へと意識したほうが良いのではないかと。そのため、最初に基本構想を記載し、その次に資源などを掲載したほうが良いのではないかと。
- ②資源については、その使われ方など踏み込んで記載したほうが良いのではないかと。
- ③県外に持参したときに内容がわかってもらえるようなものにしたい。

### 【D 班】

- ①子どもや次の 10 年をつくる生産人口や労働人口に特に伝えたい。
- ②ワクワクするような内容と危機感を煽るような内容にしてはどうか。
- ③自分事化というワードを入れてはどうか。

### 【E 班】

- ①人口減少の話盛り込み、現状を伝えてはどうか。
- ②行動指針にあたる部分を厚くしたほうが良いのではないかと。多様性、デジタル・AIといった視点を入れてはどうか。
- ③エッジを効かせた部分と人口減少下でも安心して暮らせる両輪バランスが取れた計画が良い。
- ④子どもを読み手として策定するのではなく、誰でもわかるという捉え方で策定。
- ⑤内容はインフォグラフィックスの手法で作成したほうが良いのではないかと。
- ⑥政策立案のためのチェックポイントを作成したほうが良いのではないかと。